

女川原子力発電所1号機重油貯蔵タンク倒壊に係る原因と対策について
(法令および安全協定に基づく報告事象)

【事象の概要】

女川原子力発電所1号機の補助ボイラー¹用に屋外に設置していた重油貯蔵タンクが倒壊し、重油が漏れていたことを確認しました。当該タンクの倒壊は、電気事業法に基づく主要電気工作物の破損事故に該当することから、3月29日、電気事業法に基づき報告しました。

(平成23年3月29日お知らせ済み)

【原因】

当該タンクは、発電所構内の主要設備が設置されている敷地高さ(約13.8メートル²)より低い基準海面から高さ2.5メートル²の場所に設置していたことから、津波の影響により倒壊したものと判断しました。

【対策】

今後、発電所構内の高台への設置等を検討してまいります。

以上

- 1 発電所建屋内の暖房等に使用する蒸気やプラント起動時のタービン軸封部へのシール蒸気(回転部からタービン蒸気が漏れ出さないように軸封部に供給する蒸気)を供給するための設備。
- 2 今回の地震後に公表された国土地理院による女川原子力発電所周辺の地殻変動(-約1m:速報値)を考慮した値。